

政策評価シート（令和元～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

評価責任者	所属	経済局
	氏名	稲葉 光

政策	2 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります
政策の目的	<p>【既存産業の縮小への懸念】</p> <p>○製造業、商業ともに事業所数が減少しており、市内市場が縮小しています。</p> <p>○工場等の市外への移転が懸念されています。</p> <p>○企業が発展していくためには地域資源の活用や、製品の高付加価値、差別化を図り、企業の競争力を高める必要があります。</p>

(1) 総合評価

評価	<b>A：政策の目的が達成されている</b>
理由	個々の企業や個店が抱える課題の解決に向け、窓口相談や各種支援を実施した。各施策の成果に加え、成果指標としている市内総生産額についても目標値を既に達成していることから、政策の目的が達成されていると判断し「A」評価とした。

※【評価基準】S：政策の目的が十分に達成されている。A：政策の目的が達成されている。B：政策の目的があまり達成されていない。C：政策の目的が達成されていない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

指標名	現状値	R4目標値	実績値 (R4.3末時点)	達成率(%) (R4.3末時点)	評価	目標値の算出根拠
市内総生産額 現状値：3兆880億円(2014推計) 目標値：3兆2,140億円(2022)	3兆880億円 (2014推計)	3兆2,140億円 (2022)	3兆3,472億円 (2018)	104.1%	<b>a</b>	第2次静岡市産業振興プランと同じ目標とした。プランは経済センサス等の統計資料や日精25年度までの経済の動向から平成26年推計値3兆880億円及びR4目標値3兆2,140億円を算出している。

※【評価基準】s：既に目標値を達成している、a：目標値を達成する見込みである、b：目標値をやや下回る見込みである、c：目標値を大幅に下回る見込みである

(3) 第4次総合計画に向けた見直し等

○中小企業は地域経済を支える重要な存在であり、各企業等の経営課題に応じたきめ細やかな支援を引き続き実施してことで、生産性の向上と地域経済の活性化を図る。
--

(4) 政策を構成する施策及び主要事業

施策1	新市場・販路開拓に対する支援		
総合評価結果	R元	R2	R3
	A	A	A

施策2	新製品・技術開発等に対する支援		
総合評価結果	R元	R2	R3
	A	A	A

施策3	中小企業の経営基盤・競争力の強化		
総合評価結果	R元	R2	R3
	A	A	A

施策4	個店、商店街、まちの維持・成長支援		
総合評価結果	R元	R2	R3
	A	A	A

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

政策	2 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります
----	--------------------------

施策	1 新市場・販路開拓に対する支援
----	------------------

施策の目的	近年の経済のグローバル化の進展を踏まえ、国内外の新たなマーケットへの進出を目指し販路開拓活動等に意欲的に取り組む中小事業者の後押しを行うことにより、本市経済の活性化を図ります。
-------	--

評価責任者	所属	経済局 商工部 産業振興課
	氏名	課長 石川 賢一

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標について目標を達成しており、施策を構成する主要事業においても一定の成果を挙げているため。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標について、代替指標により目標がおおむね達成できており、施策を構成する主要事業においても一定の成果を挙げているため。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標について、代替指標により目標がおおむね達成できており、施策を構成する主要事業においても一定の成果を挙げているため。
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
			1	42件	43件	102.4%	a	
2	42件	23件	54.8%	c				
3	42件	26件	61.9%	c				
4	42件	—	—	—				
指標成果以外の			1					事務事業総点検において、大規模展示会出展等事業補助金の利用事業者の、会期中の名刺交換数に対する商談・成約に至った件数を成果指標としている。令和2年度においては12.5%を目標としたが、実績は11.3%（A評価）となり、一定の成果を得られたと考えている。令和3年度においては11%を目標としたが、実績は10.1%（A評価）となっており、一定の成果を得られたと考えている。
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
大規模展示会出展等事業補助金	補助要件を緩和するとともに、市内中小企業と多くの接点を持つ金融機関や産業支援団体に対して補助金の周知を行った。	1	1	8,600	0	7,918	0.4	0.0	0.0	△
			2	14,400	0	4,499	0.4	0.0	0.0	
			3	8,400	0	4,946	0.4	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
大規模展示会共同出展事業	市内中小製造事業者とともに「機械要素技術展」に静岡市ブースを出展。本市製造事業者の販路開拓を支援するとともに、技術力と本市施策のアピールを行った。	2	1	5,279	0	5,163	0.4	0.0	0.0	○
			2	5,426	0	5,343	0.4	0.0	0.0	
			3	5,426	0	5,422	0.4	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
市内工業製品の利活用促進事業	コロナ禍において、市内事業所の事業委継続を支援すべく、事業継続計画（BCP）のモデルプランの作成を行った。	5	1	607	0	0	0.1	0.0	0.0	△
			2	688	0	497	0.1	0.0	0.0	
			3	688	0	0	0.1	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
地場産品販路開拓事業	①静岡駅構内 駿府楽市 特産品展示コーナーにおいて企画展を開催 ②東京都新宿駅西口において「静岡市の特産品東京展示会」を開催	4	1	27,230	0	27,059	0.3	0.0	0.0	○
			2	21,770	0	21,683	0.3	0.0	0.0	
			3	23,167	0	22,965	0.3	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
地域産業振興ブランド認証事業	市内外のイベントに出展し、既存認証品のPRを行った。	3	1	4,075	0	3,383	1.0	0.0	0.0	○
			2	3,562	0	3,272	1.0	0.0	0.0	
			3	3,220	0	1,873	1.0	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	【大規模展示会出展等事業補助金】 令和2年3月以降の展示会を対象とした申請については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い全て事業廃止となった。令和2年度も7月までは開催中止となっている展示会が多く、申請件数は低調に推移。	【大規模展示会出展等事業補助金】 経済の回復期に向け、補助要件の緩和等に着手することで市内企業の売上回復支援に取り組むとともに、利用促進のための周知に努める。
令和2年度	【大規模展示会出展等事業補助金】 年度前半は新型コロナウイルスの流行初期ということもあり展示会開催そのものが少なかった。年度後半は補助要件を緩和し、販路開拓機会の創出を図ったが、展示会開催環境が改善せず、申請件数が伸びない結果となった。	【大規模展示会出展等事業補助金】 令和2年度後半に引き続き、補助要件の緩和を行い販路開拓機会の創出を図るとともに、金融機関や商工団体への周知による利用率の向上に取り組んでいく。
令和3年度	【大規模展示会出展等事業補助金】 感染対策を実施した上で開催される展示会が徐々に増えてはいるものの、新型コロナウイルス感染症の影響から来場者数は未だ伸び悩み、展示会出展による効果の見込みが見えにくいことから、申請件数が伸びない結果となった。	【大規模展示会出展等事業補助金】 金融機関や商工団体への周知による利用率の向上に取り組んでいくと共に、補助制度の在り方についての見直しを検討していく。
令和4年度	-	-

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

政策	2 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります
----	--------------------------

施策	2 新製品・技術開発等に対する支援
----	-------------------

施策の目的	近年の経済のグローバル化の進展を踏まえ、国内外のマーケットをターゲットとした新たな製品・技術の開発に意欲的に取り組む中小事業者の後押しを行うとともに、その成果を情報発信し、他の事業者の意識啓発・気運醸成につなげていくことにより、本市経済の活性化を図ります。
-------	--

評価責任者	所属	経済局 商工部 産業振興課
	氏名	課長 石川 賢一

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標を達成し、施策を構成する主要事業においては 一部指標については目標未達成のものがあるが、全体として概ね目的を達成できているため。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標を達成し、施策を構成する主要事業においては 一部指標については目標未達成のものがあるが、全体として概ね目的を達成できているため。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標を達成し、施策を構成する主要事業においては 一部指標については目標未達成のものがあるが、全体として概ね目的を達成できているため。
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
			1	3者	3者	100.0%	a	
成果指標	新製品等開発事業に対する支援事業者数（新商品等開発事業補助金）	3者	2	3者	8者	100.0%	a	事業予算編成上、支援事業者は過去の支援者数から3者として構成しているため。
			3	3者	7者	100.0%	a	
			4	3者	—	—	—	
			1	6者	6者	100%	a	
	新製品等開発事業に対する支援事業者数（ニューウェーブしずおか創造事業）	6者	2	6者	6者	100%	a	事業予算編成上、参加事業者は過去の参加者数から6者として構成しているため。
			3	6者	6者	100.0%	a	
			4	6者	—	—	—	
			1					
指標成果以外の			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
新商品等開発事業費助成事業	○新商品開発事業 市内中小製造事業所における、新たな技法を用いて新商品を開発する事業若しくは、従来にない機能を具備した商品を開発する事業に対し、事業費の一部を助成 ○産業財産権出願事業補助金 「特許」「実用新案」の出願に係る出願経費の一部を助成	1	1	4,800	0	4,800	0.4	0.0	0.0	○
			2	7,500	0	3,742	0.4	0.0	0.0	
			3	4,800	0	3,773	0.4	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
ニューウェーブしずおか創造事業	6チームが協働により木商品等を各開発。首都圏展示会にて展示発表し販路開拓に努めた。 参加者：メーカー及び工房 6者、公募デザイナー6者 開発品：木製指物、木製挽物、ウレタン家具、金属製品、家具調仏壇等	1	1	6,437	0	6,135	0.1	0.0	0.0	○
			2	6,437	0	4,692	0.1	0.0	0.0	
			3	6,437	0	6,374	0.1	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
事業高度化機械設備設置補助事業	市内中小企業と多くの接点を持つ金融機関や産業支援団体に対して補助金の周知を行った。また、問い合わせのあった案件については積極的に訪問し、補助金の申請手続きの支援や課題のヒアリングを行った。	3	1	40,000	0	31,615	0.4	0.0	0.0	○
			2	80,000	0	76,272	0.4	0.0	0.0	
			3	61,349	0	61,349	0.4	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
東京オリンピック・パラリンピックメダルケース等提案事業	令和元年度にて終了	4	1	1,000	0	752	0.2	0.0	0.0	△
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	【新商品等開発事業補助金】 事業完了後も、開発品の一層の商品化を図っていく必要がある。	事業の完了後も動向を対象企業にヒアリングし、他の支援制度の利用促進等を通じて出口（販路開拓）支援を行っていく必要がある。
令和2年度	【新商品等開発事業補助金】 事業完了後も、開発品の一層の商品化を図っていく必要がある。	事業の完了後も動向を対象企業にヒアリングし、他の支援制度の利用促進等を通じて出口（販路開拓）支援を行っていく必要がある。
令和3年度	【新商品等開発事業補助金】 事業完了後も、開発品の一層の商品化を図っていく必要がある。	事業の完了後も動向を対象企業にヒアリングし、他の支援制度の利用促進等を通じて出口（販路開拓）支援を行っていく必要がある。
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

政策	2 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります
----	--------------------------

施策	3 中小企業の経営基盤・競争力の強化
----	--------------------

施策の目的	本市の雇用や経済を支えるのは、市内事業所の大部分を占める中小企業であります。その中小企業が安定的な経営基盤を築き、持続的な発展をしていくことにより、雇用が確保され経済が活性化されていきます。そこで、市場のニーズをとらえた商品やサービスを提供していくために必要となる金融や各種補助金による支援や表彰事業を行い、中小企業の経営基盤・競争力の強化を目指します。
-------	---

評価責任者	所属	経済局 商工部 産業政策課
	氏名	課長 桐野 勝

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	桜えび不漁により経営に苦しむ桜えび関連商工事業者を支援する制度融資を設けるなど社会情勢に応じた支援を実施し、成果指標の目標値を達成することが出来たため、評価をAとした。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	新型コロナウイルス感染症の拡大において、静岡県は制度融資「経済変動対策貸付（新型コロナウイルス感染症対応枠）」と協調した利子補給制度を設けるなど、市内事業者の事業継続のための財政支援を実施し、成果指標の目標値を達成することが出来たため、評価をAとした。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	令和3年11月の景況調査結果によると、経営上の問題点の調査によると資金不足・資金調達を問題としている市内事業者は5%であったため、円滑な資金調達がなされていることから、評価をAとした。
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	52.0%	51.6%	99.2%	a	
成果指標	円滑な資金調達がなされている中小企業者の割合	51.7% (H28-H30平均)	2	52.0%	54.0%	103.8%	a	直近3ヶ年（H28-H30）の平均値51.7%から、市内事業者の円滑な資金調達の維持を目的に、目標値を52.0%に設定。 ※令和3年度は、資金調達に係るアンケート未実施のため、実績値不明
			3	52.0%	—	—	—	
			4	52.0%	—	—	—	
			1					
指標成果以外の			2					
			3					
			4					
			1					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
中小企業融資制度利子及び信用保証料補給事業	中小企業の運転資金、設備資金を対象とした借入に関する利子、県制度経済変動対策資金(新型コロナウイルス感染症対応)の当初3年間の利子及び信用保証料の補給	1	1	273,385	0	121,478	1.3	1.0	2.0	○
			2	465,884	0	388,855	1.3	1.0	2.0	
			3	841,553	0	712,333	1.3	1.0	2.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
CSR活動表彰事業	企業の持続的発展や社会の健全な発展に寄与する活動を積極的に行う中小企業等を表彰 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	6	1	1,749	0	1,506	0.6	0.0	0.0	—
			2	138	0	0	0.5	0.0	0.0	
			3	2,012	0	862	0.6	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
中小事業者技術表彰事業	新規又は独創性の高い技術を有し、意欲的に事業活動を展開する事業者の表彰及びPR活動 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	6	1	1,135	0	967	0.7	0.3	0.0	—
			2	1,125	0	0	0.7	0.3	0.0	
			3	1,125	0	521	0.7	0.3	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
事業高度化機械設備設置補助事業	事業高度化に向けた機械設備の導入に対する助成	1	1	40,000	0	31,615	0.4	0.0	0.0	○
			2	80,000	0	76,272	0.4	0.0	0.0	
			3	61,349	0	61,349	0.4	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
静岡市清水産業・情報プラザ運営事業	清水産業・情報プラザの管理、運営(創業支援事業、中小企業製造業者現場改善支援事業、産学連携事業、情報化支援事業)	3	1	65,322	0	65,320	0.7	0.0	0.0	○
			2	68,355	0	68,204	0.7	0.0	0.0	
			3	66,631	0	66,628	0.7	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
静岡市産学交流センター運営事業	産学交流センターの管理、運営	3	1	110,507	0	109,813	0.7	0.0	0.0	○
			2	112,307	0	112,025	0.7	0.0	0.0	
			3	129,372	0	123,574	0.7	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例(◎:計画より進んでいる、○:計画どおり進んでいる、△:計画より遅れている、—:計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	なし	
令和2年度	なし	
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

政策	2 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります
----	--------------------------

施策	4 個店、商店街、まちの維持・成長支援
----	---------------------

施策の目的	個店（個別事業者）、商店街（事業者らによる連携組織）、まち（都市環境、地域環境）の3つの視点から、事業者やまちづくり関係者による自立的な取組を支援し、「都心商業の強化」と「地域商業の充実」を図ることにより、「商都静岡」にふさわしい、「都市力を高め、市民生活を豊かにする商業」の実現を目指します。
-------	---

評価責任者	所属	経済局 商工部 商業労政課
	氏名	課長 平尾 隆司

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業を計画通りに実施し、成果指標の目標値を達成したため
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業を計画通りに実施し、成果指標の目標値を達成したため
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業を計画通りに実施し、成果指標の目標値を達成したため
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	中心市街地主要通りの店舗数	静岡548店 清水198店 (H30)		1	静岡553店・清水200店	静岡559店・清水200店	100.1%	a
2				静岡555店・清水200店	静岡567店・清水197店	101.2%	a	
3				静岡558店・清水200店	静岡576店・清水198店	102.1%	a	
4				静岡560店・清水200店	—	—	—	
指標以外の成果			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満



(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
中心市街地活性化基本計画の推進	①中心市街地活性化協議会への補助金の交付 ②同協議会の運営支援及び会議への出席 ③中心市街地活性化基本計画の変更	1	1	11,600	0	8,409	0.8	0.0	0.0	○
			2	11,600	0	7,165	0.8	0.0	0.0	
			3	11,600	0	6,124	0.8	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
学生と連携した商店街振興事業	①大学生によるお店コンサルティング事業(大コン)の実施 ②大コン事業パンフレットの作成	3	1	389	0	326	0.7	0.0	0.0	○
			2	320	0	334	0.7	0.0	0.0	
			3	346	0	334	0.7	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
プレミアムフライデー推進事業	①地域情報誌等を活用した普及啓発 ②市民参加型のシンボルイベントの実施	3	1	15,400	0	15,239	1.0	0.0	0.0	○
			2	2,600	0	2,600	1.0	0.0	0.0	
			3	4,400	0	4,400	1.0	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
商業活性化グループ支援事業	①商業活性化グループ事業への助成	1	1	4,000	0	2,866	0.4	0.0	0.0	○
			2	4,000	0	2,603	0.4	0.0	0.0	
			3	5,000	0	3,099	0.4	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
中央卸売市場の充実	①青果卸倉庫棟屋根折板裏断熱材改修 ②青果卸倉庫棟低温倉庫北側2室冷蔵設備取替等修繕	3	1	14,276	0	14,276	1.4	0.0	0.0	○
			2	26,900	0	25,076	1.4	0.0	0.0	
			3	48,000	0	41,553	1.4	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例(◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済界が大きな影響を受けている。今後の情勢により、各事業の縮小や見送り等により、商業者やまちづくり関係者への支援にも影響が出ること。	新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、商業者等のニーズ・状況を見極め、必要な支援を行っていく。
令和2年度	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済界が大きな影響を受けている。今後の情勢により、各事業の縮小や見送り等により、商業者やまちづくり関係者への支援にも影響が出ること。	新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、商業者等のニーズ・状況を見極め、必要な支援を行っていく。
令和3年度	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済界が大きな影響を受けている。今後の情勢によっては、各事業の縮小や見送り等、商業者やまちづくり関係者への支援にも影響が出る場合がある。また、以前より実施している事業において、時代に見合った取組にシフトしていく必要性も生じて来ている。	引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、市内の賑わい創出、経済活性化に向けて取り組んでいくとともに、商業者の商品開発を支援するなど、新たな取組も行っていく。また、必要に応じて各事業の取組方針等の見直しを行っていく。
令和4年度	—	—